

地域クラブ活動の円滑な推進に向けた取組の全体像

資料1-1

～学校頼みの活動から、まち全体で支える活動へ～

- ◆ 北九州市では、将来にわたって子どもたちが、それぞれの希望に応じたスポーツ・文化芸術活動を通じて、自己実現につながるチャレンジができる環境を確保するため、国のガイドラインに基づき、令和7年5月に「北九州市部活動地域展開推進計画」を策定。
- ◆ 「地域クラブの円滑な推進に関する市民会議」では、以下の取組みの進捗を報告しながら、地域クラブ活動の現状把握と課題の共有・意見交換を積み重ねることで、各取組みを進化させ、令和9年9月の本格実施に向けた準備を着実に進めていく。

地域クラブの拡充

【目指す姿】生徒の意欲がわく
多様かつ十分な選択肢

【主な取組み】

- 地域クラブの立上げ・運営に係る「手引き」の充実
- コーディネーターによる立ち上げ支援の充実
- 地域クラブの運営支援の強化(相談窓口の整備等)
- 個々の分野・種目の特性に応じた活動促進の検討
- 利用できる施設の拡大(校舎等)、利用ルール 等

生徒の チャレンジ促進

【目指す姿】やりたい活動を発見し、
新たな経験ができる

【主な取組み】

- ホームページの利便性向上・情報の集約化
- 学校から保護者・生徒への定期的な情報提供
- 部活動と地域クラブ活動の相互連携
- 生徒の活動状況調査(アンケート)の実施
- 生活困窮世帯支援制度の創設・運用 等

指導者の確保

【目指す姿】市民の幅広い層が
指導者として地域クラブへ参画

【主な取組み】

- 指導者人材バンクを整備しクラブへ人材紹介
- 地域・団体・大学・企業と連携した指導者人材の拡大
- 兼職兼業制度による希望する教員の参画
- 指導者研修のバージョンアップ
- 日本版DBSによる安全確保 等

広報・理解の 促進

【目指す姿】「まち全体で支える」
という積極的意義の共有・浸透

【主な取組み】

- ホームページの利便性向上・情報の集約化(再)
- 広報用資料(ポスター・リーフレット等)の充実
- 対象者別のFAQ(よくある質問)の作成
- 市民全てを対象とした地域説明会の開催
- 各種媒体を通じた情報発信 等

地域クラブ活動の円滑な推進に向けた取組【着手済・着手中のもの】

～学校頼みの活動から、まち全体で支える活動へ～

下線の取組:本日議論

【地域クラブの拡充】

- 地域クラブの立上げ・運営に係る「手引き」の改訂・充実【R8.7-8】
- 「北九州市地域クラブ認定要綱」を改正し、責任の所在を明確化【R8.4済】
- 休日校舎利用(吹奏楽等)に対応できる機械警備をモデル実施中【R8年内に実施校拡大】
- 地域クラブ運営の支援策について他自治体事例を調査中【R8年内に具体化】

【指導者の確保】

- 指導者研修会を計19回実施、受講認定証交付者数680名【R8.7現在】
- 指導希望者を地域クラブに紹介する「指導者人材バンク」の検討【R8年内に具体化】
- 指導を希望する教職員が活用する「兼職兼業制度」の再周知を実施【R8.7済】

【生徒のチャレンジ促進】

- 地域クラブ活動のホームページ(ポータルサイト)の構築【R8.7-8、その後も充実】
- 全ての市立中学校において、校区内の地域クラブの紹介等を実施【R8.6済】
- 生徒の休日の活動等に関するアンケート(第1回)の実施【R8.7済】
- 生活困窮世帯支援制度の創設・運用【R8.8】

【広報・理解の促進】

- ポータルサイト、ポスター・リーフレット、FAQ等の作成【R8.7-8】
- 市民全てを対象とした地域説明会を計11回実施、参加者数延べ565名【R8.7現在】
- 小学生・保護者を対象とした説明動画の配信【R8.7済】、説明会開催【R8秋～】
- 各中学校で地域の団体等に説明(学校運営協議会等の場で)【R8.8～】



PRESS RELEASE

令和 8 年 8 月 21 日
北九州市
北九州教育委員会
ギラヴァンツ北九州
ボルクバレット北九州
takagi 北九州 Water Wave
北九州下関フェニックス

報道機関 各位

学校頼みの活動から、まち全体で支える活動へ

プロスポーツチームが次世代の笑顔と挑戦を支える！ 部活動の地域展開 応援団発足式を行います

北九州市では子どもたちが将来にわたって継続的にスポーツ、文化芸術活動に親しむ環境を確保するため、昨年5月に北九州市部活動地域展開推進計画を策定し、取組を進めています。この実現には、学校のみならず、企業や地域の協力が不可欠です。

このたび、本市を本拠地とするプロスポーツチーム4者による部活動の地域展開応援団発足式と応援活動内容の発表を行います。

下記のとおり応援団発足式を開催しますので、ぜひ、取材方よろしくお願いいたします。

記

- 1 日時 令和 8 年 8 月 27 日(木) 13:45～14:15
- 2 場所 北九州市役所5階 プレゼンテーションルーム
- 3 出席者 北九州市 市長 武内 和久
北九州市教育委員会 教育長 太田 清治
ギラヴァンツ北九州 日高 智樹（普及事業部コーチ/元選手）
ボルクバレット北九州 浦上 浩生（選手・キャプテン）
takagi 北九州 Water Wave 細野 摩な（選手・主将）
北九州下関フェニックス 金本 享祐（選手・球団 GM）

4 応援団発足式次第

- (1) 出席者紹介
- (2) 北九州市 挨拶・説明
- (3) 各チームの応援活動内容の発表
- (4) 意見交換
- (5) 質疑応答
- (6) 写真撮影

【問い合わせ先】

北九州市教育委員会部活動地域展開担当

村上(課長)、上杉(係長) 電話:093-582-2357

北九州市 地域クラブ活動の愛称公募について

令和9年9月に本格実施を控える「地域クラブ活動」に親しみを持ち、参加意欲を高めてもらえるよう、活動の主役であるこどもたちから「愛称」を公募する。

1 応募資格

北九州市立小学校・中学校・特別支援学校に在籍する児童生徒

2 応募期間

令和8年9月7日(月)～9月 25 日(金)(予定)

3 応募方法

インターネット上の専用応募フォーム(応募開始時に案内)に必要事項を入力

4 審査方法

(1)一次審査

北九州市教育委員会事務局において、全ての応募作品の中から優秀な作品を5～10 点程度選定。

(2)二次審査

北九州市立小学校・中学校・特別支援学校の全児童生徒による投票の結果、最も多くの票を得た作品を、北九州市地域クラブの愛称として決定。

5 結果公表方法等

- 決定した愛称は、北九州市ホームページ等に掲載予定。同意が得られた場合には、発案者の氏名等も併せて掲載することも検討。
- 作品が愛称として採用された方には、図書カードを贈呈。

(参考)他都市の事例

浜松市「はまクル」、京都市「京クラ」、神戸市「KOBE◆KATSU」(コベカツ) 等

(参考)案内用チラシのイメージ

KITAKYUSHU CLUB NAME PROJECT

小学生・中学生から大募集！

名前をつけるのは、 キミだ。

やってみよう！を、そのまま名前に。

北九州市
「地域クラブ活動」
新ネーミング募集



どんな名前にする？

運動も、文化も。

どんな名前がいい？

北九州市の地域クラブ活動だとひと目でわかる、呼びやすく、親しみやすい名前を考えてね！

01 おぼえやすい

02 運動・文化どちらにも合う

03 北九州市らしい

応募できる人 北九州市立学校に在籍する児童生徒

募集期間
令和8年
9.XX → 9.XX

QRコードから応募フォームにアクセスしてね！
何度でも応募できるから、ひらめいたら、どんどん応募してみよう。

ここから応募！

北九州市教育委員会

北九州市立中学校生徒の 休日の活動等に関するアンケートについて

令和8年8月25日
北九州市教育委員会

◆実施概要

- ・ 実施期間: 令和8年7月1日(水)～令和8年7月17日(金)
- ・ 実施方法: Googleフォームを用いたwebアンケート(一人一台端末から回答)
- ・ 対象者: 全市立中学校生徒
- ・ 有効回答数: 17,849件(回答率84%)

◆結果の概要(詳細は次頁以降)

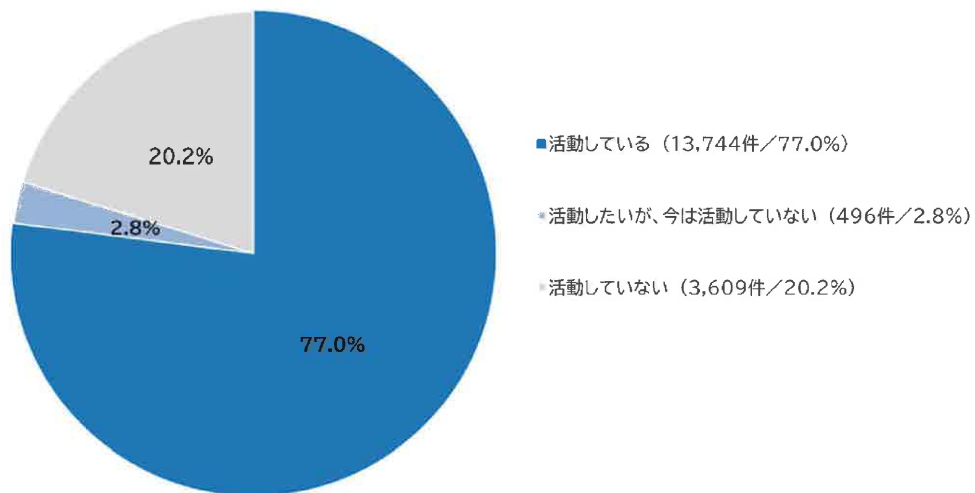
- ・ 約80%の生徒が「活動している」または「活動したいが、今は活動していない」と回答(Q3)。
- ・ 学校部活動: 「活動している」生徒の87.8%が加入。74.5%が、土日にも活動(Q4・Q5)。
- ・ 地域クラブ: 「活動している」生徒の13.9%が加入。86.2%が、第1土・日に活動(Q6～Q9)。
- ・ 民間クラブ: 「活動している」生徒の18.9%が加入。84.1%が、土日にも活動(Q10・Q11)。
- ・ 活動で大切にしたいこと: 「上手になりたい・力を伸ばしたい」「仲間と楽しく活動したい」を選んだ生徒が、いずれも全回答者の半数以上(Q13)。
- ・ 地域クラブへの期待と課題: 活動の選択肢拡大や専門的な指導への期待が高い。指導者・仲間・種目を重視する声が多い(Q14・Q16)。
- ・ 地域クラブ活動の今後の展開: 「よいと思う」と答えた生徒は全体の約6割(参加者では8割超)。理解の促進に向けて必要性や活動内容の発信の充実を望む声も多い(Q15・Q17)。

【総括表】学校部活動・地域クラブ・民間クラブへの参加状況のまとめ

	総回答数	部活動等活動数										活動したいが今はしていない数	何もしていない(希望もなし)	地域クラブに入っている				民間クラブに入っている		
		部活動入部数					部活動以外での活動数							地域クラブで第1土・日に活動している	民間クラブに入っている	民間クラブで第1土・日以外の土日に活動している				
		土日に活動している数	地域クラブ・民間クラブに入っていない		地域クラブ + 民間クラブ	地域クラブのみ	民間クラブのみ	その他												
門司区	1363	1043	914	637	473	129	6	12	88	23	47	273	149	25	106	137	176	57	156	
		76.5%	67.1%	(69.7%)	(74.3%)	9.5%	(4.7%)	(9.3%)	(68.2%)	(17.8%)	3.4%	20.0%	10.9%	(16.8%)	(71.1%)	《91.9%》	12.9%	(32.4%)	《88.6%》	
小倉北区	2716	2096	1905	1505	1175	191	15	13	119	44	76	544	274	81	165	230	357	142	295	
		77.2%	70.1%	(79.0%)	(78.1%)	7.0%	(7.9%)	(6.8%)	(62.3%)	(23.0%)	2.8%	20.0%	10.1%	(29.6%)	(60.2%)	《83.9%》	13.1%	(39.8%)	《82.6%》	
小倉南区	4456	3440	2952	2124	1400	488	24	33	337	94	137	879	586	118	411	499	780	301	666	
		77.2%	66.2%	(72.0%)	(65.9%)	11.0%	(4.9%)	(6.8%)	(69.1%)	(19.3%)	3.1%	19.7%	13.2%	(20.1%)	(70.1%)	《85.2%》	17.5%	(38.6%)	《85.4%》	
若松区	1858	1439	1229	956	681	210	9	8	151	42	34	385	249	60	172	224	307	87	274	
		77.4%	66.1%	(77.8%)	(71.2%)	11.3%	(4.3%)	(3.8%)	(71.9%)	(20.0%)	1.8%	20.7%	13.4%	(24.1%)	(69.1%)	《90.0%》	16.5%	(28.3%)	《89.3%》	
八幡東区	1234	943	847	629	441	96	5	9	58	24	38	253	163	42	107	141	179	74	146	
		76.4%	68.6%	(74.3%)	(70.1%)	7.8%	(5.2%)	(9.4%)	(60.4%)	(25.0%)	3.1%	20.5%	13.2%	(25.8%)	(65.6%)	《86.5%》	14.5%	(41.3%)	《81.6%》	
八幡西区	5186	3959	3463	2570	2140	496	35	42	322	97	127	1100	361	58	226	299	660	245	539	
		76.3%	66.8%	(74.2%)	(83.3%)	9.6%	(7.1%)	(8.5%)	(64.9%)	(19.6%)	2.4%	21.2%	7.0%	(16.1%)	(62.6%)	《82.8%》	12.7%	(37.1%)	《81.7%》	
戸畑区	1036	824	757	568	419	67	6	9	37	15	37	175	129	28	86	118	137	66	108	
		79.5%	73.1%	(75.0%)	(73.8%)	6.5%	(9.0%)	(13.4%)	(55.2%)	(22.4%)	3.6%	16.9%	12.5%	(21.7%)	(66.7%)	《91.5%》	13.2%	(48.2%)	《78.8%》	
合計	17849	13744	12067	8989	6729	1677	100	126	1112	339	496	3609	1911	412	1273	1648	2596	972	2184	
		77.0%	87.8%	(74.5%)	(74.9%)	9.4%	(6.0%)	(7.5%)	(66.3%)	(20.2%)	2.8%	20.2%	13.9%	(21.6%)	(66.6%)	《86.2%》	18.9%	(37.4%)	《84.1%》	
部活動と違う種目で地域クラブ活動をしている生徒数						55名(例:ソフトテニス部×護身術クラブ、美術部×バドミントンクラブ、陸上部×ラグビークラブ)														
部活動と違う種目で民間クラブチームで活動している生徒数						360名(例:卓球部×バレーボールクラブ、放送部×バスケットボールクラブ、ボランティア部×合気道クラブ)														

Q3 現在、部活動などの決まったチームや団体にスポーツ・文化芸術活動をしていますか。

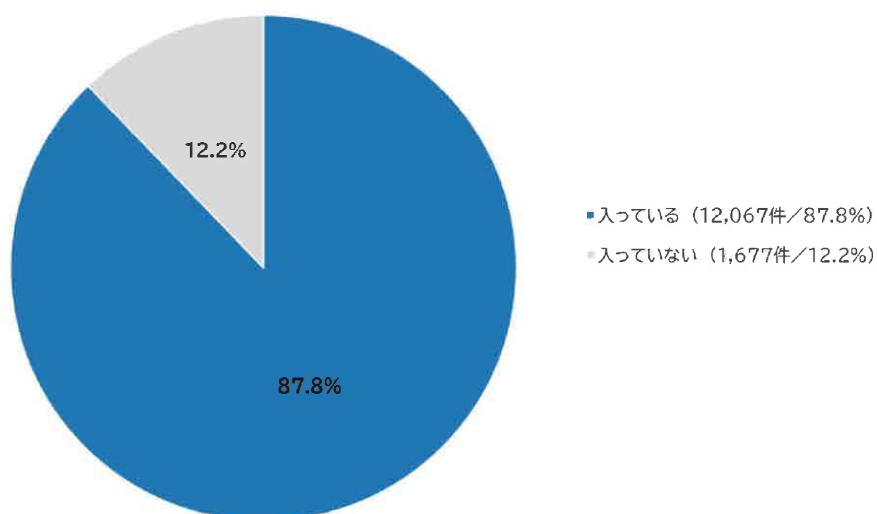
○ 約80%の生徒が、「活動している」または「活動したいが、今は活動していない」と回答している。



3

【Q3で「活動している」と答えた方へ】
Q4 現在、学校の部活動に入っていますか。

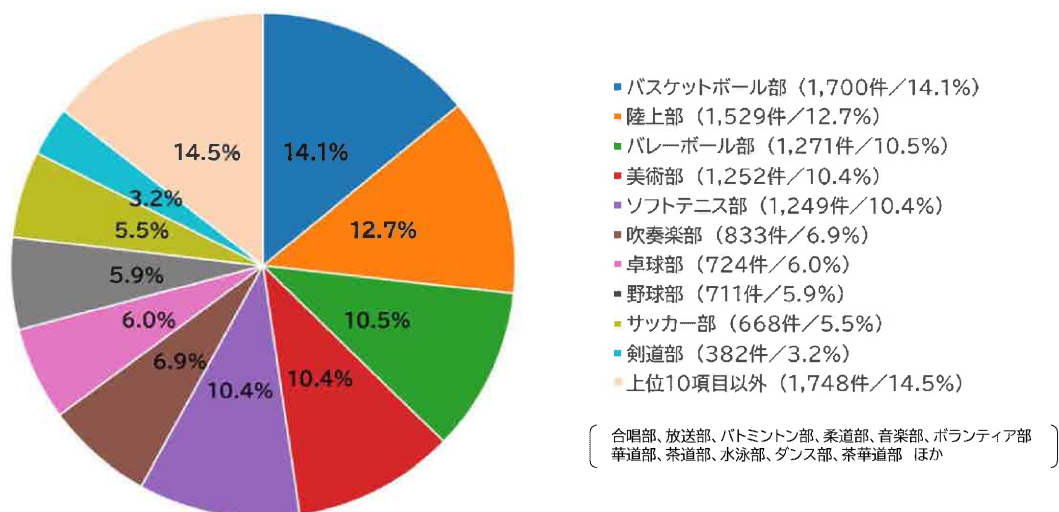
○ Q3で「活動している」と回答した生徒のうち87.8%の生徒が学校部活動に加入している。



4

【Q4で「入っている」と答えた方へ】
Q5-1 何部に入っていますか。

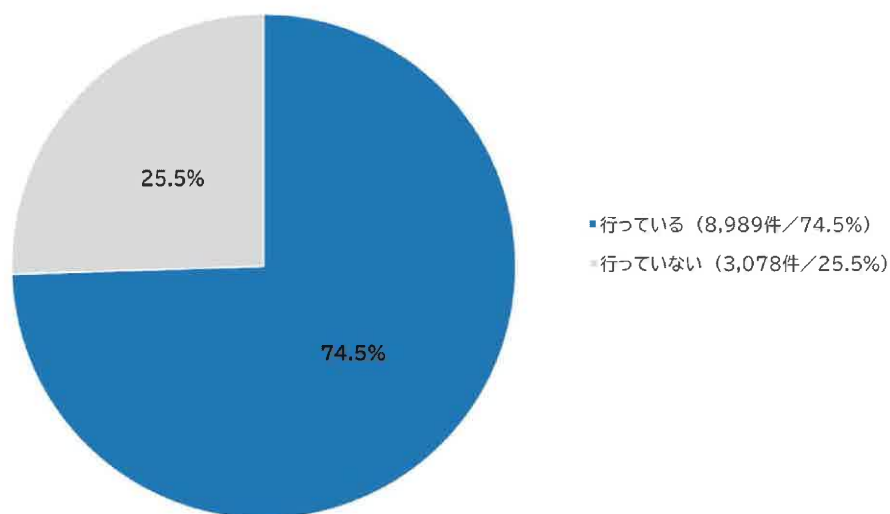
○ 学校部活動の種目・分野について、運動系はバスケや陸上、文化系は美術や吹奏楽に参加している生徒が多い。



5

【Q4で「入っている」と答えた方へ】
Q5-2 第1土曜日と翌日曜日以外の土日に、部活動を行っていますか。

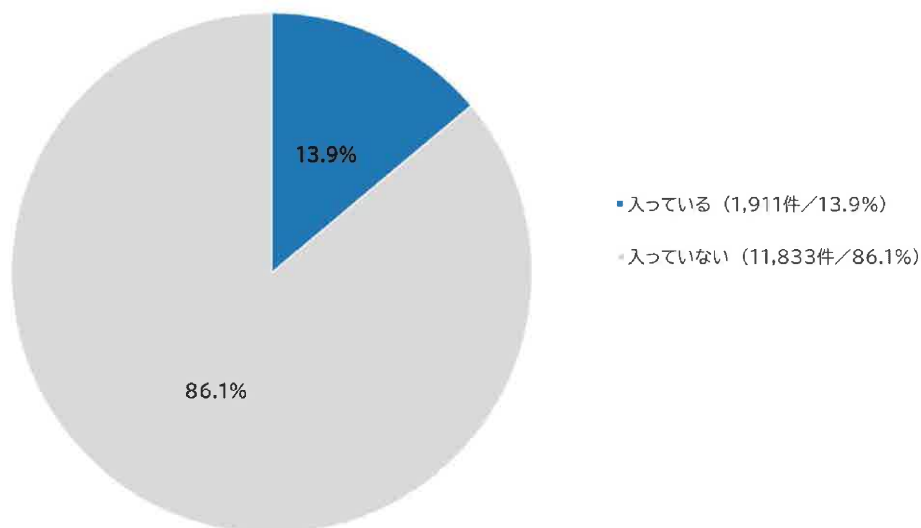
○ （学校部活動に）「入っている」と回答した生徒のうち74.5%の生徒が第1土曜日と翌日曜日以外の土日に部活動を行っている。



6

Q6 現在、地域クラブに入っていますか。

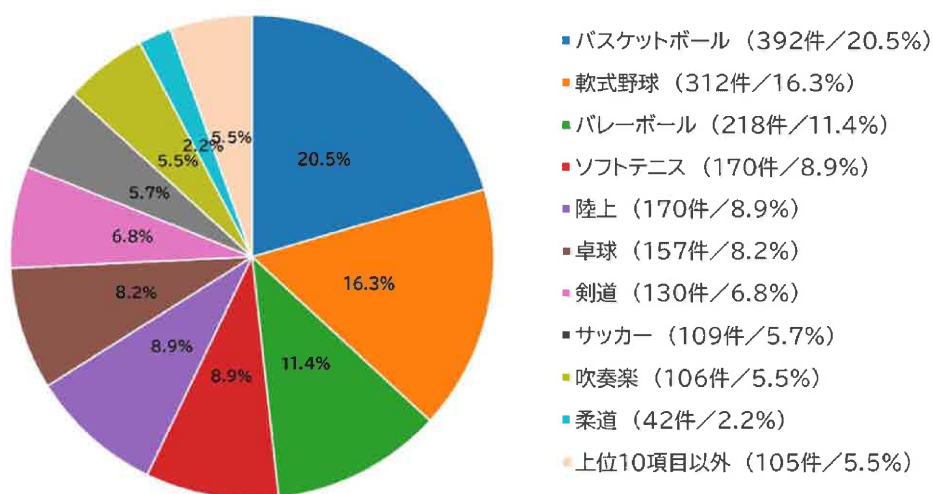
○ Q3で(決まったチームや団体で)「活動している」と回答した生徒のうち13.9%の生徒が地域クラブに加入している。



7

【Q6で「入っている」と答えた方へ】 Q7 種目・分野を教えてください。

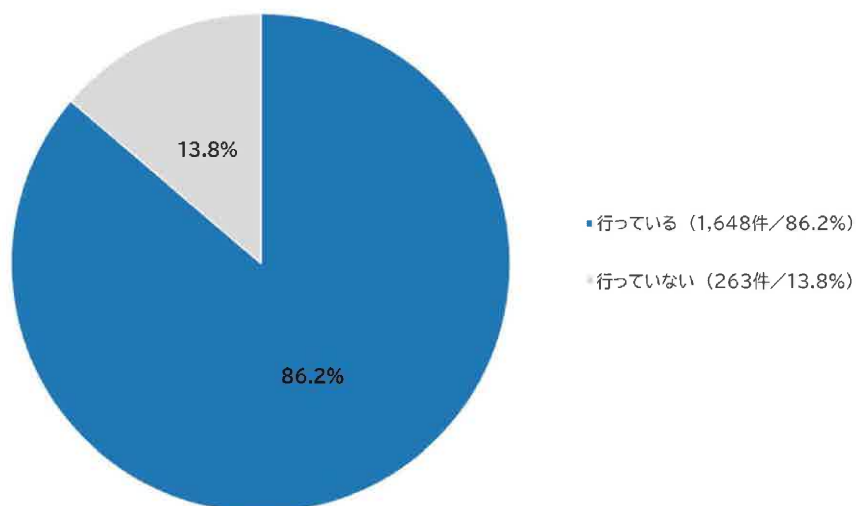
○ 地域クラブの種目・分野について、運動系はバスケや軟式野球、文化系は吹奏楽に参加している生徒が多い。



8

Q9 現在、第1土曜日と翌日曜日に、地域クラブ活動を行っていますか。

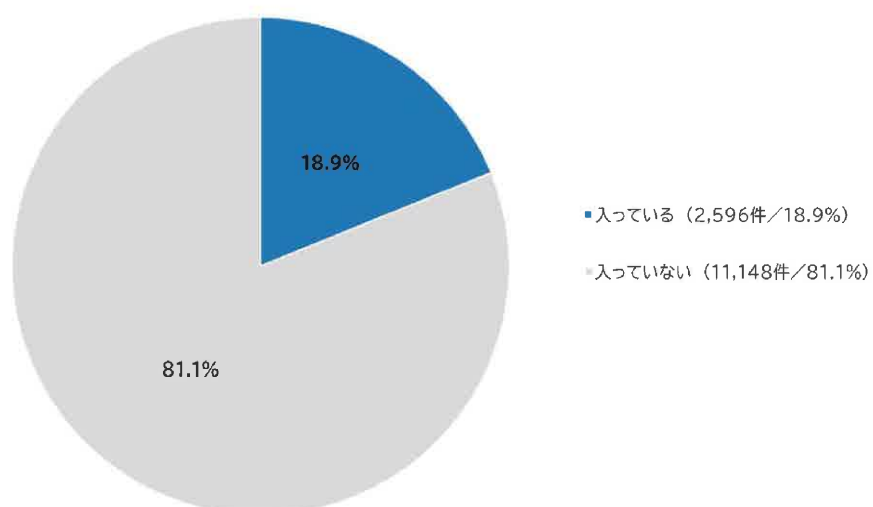
○ Q6で(地域クラブに)「入っている」と回答した生徒のうち86.2%の生徒が第1土曜日と翌日曜日に地域クラブ活動を行っている。



9

Q10 現在、民間のクラブチームに入っていますか。

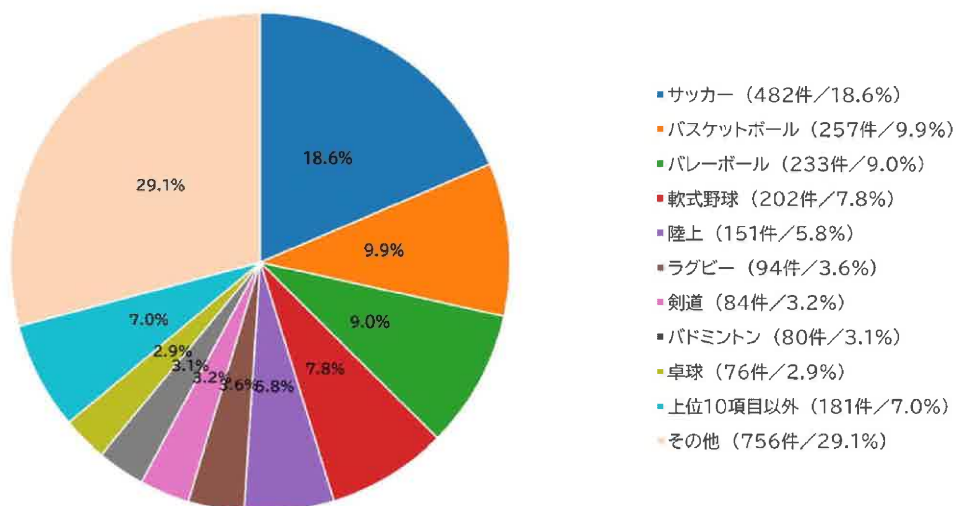
○ Q3で(決まったチームや団体で)「活動している」と回答した生徒のうち18.9%の生徒が民間のクラブチームに加入している。



10

【Q10で「入っている」と答えた方へ】
Q11-1 種目・分野を教えてください。

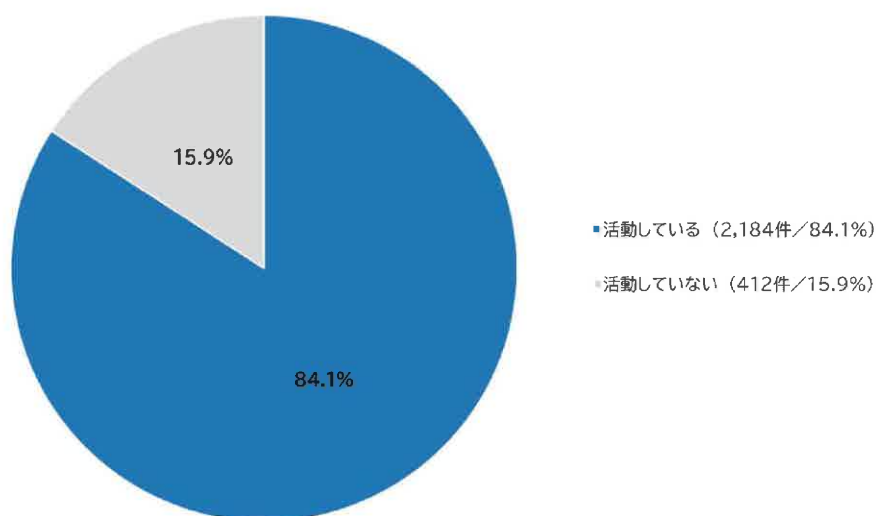
○ 民間クラブチームの種目・分野について、サッカー、バスケやバレーボールに参加している生徒が多い。



11

【Q10で「入っている」と答えた方へ】
Q11-2 第1土曜日と翌日曜日以外の土日に、クラブチームで活動していますか。

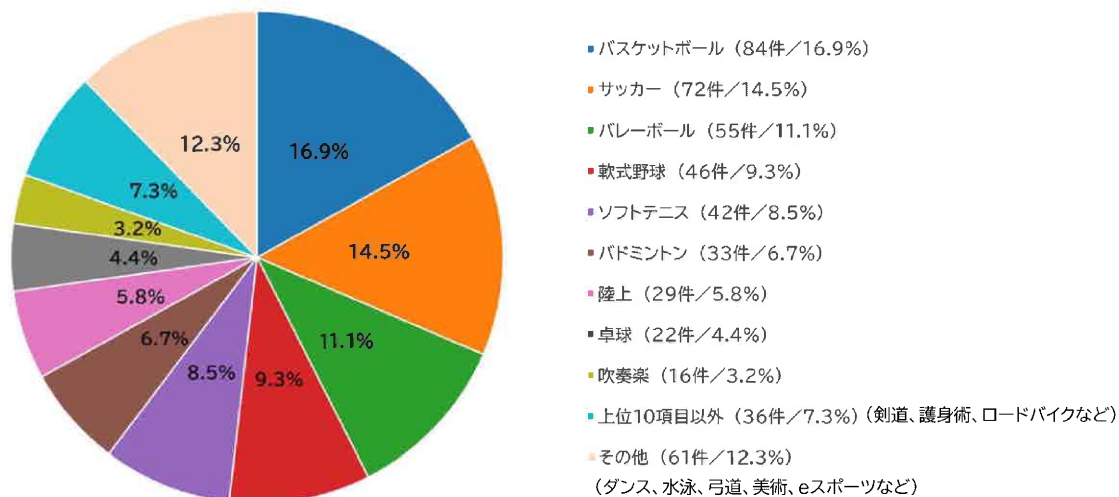
○ 民間のクラブチームに「入っている」と回答した生徒のうち、84.1%の生徒が第1土曜日と翌日曜日以外の土日に部活動を行っている。



12

【Q3で「活動したいが、今は活動していない」と答えた方へ】
Q12 どんな活動をしたいですか。

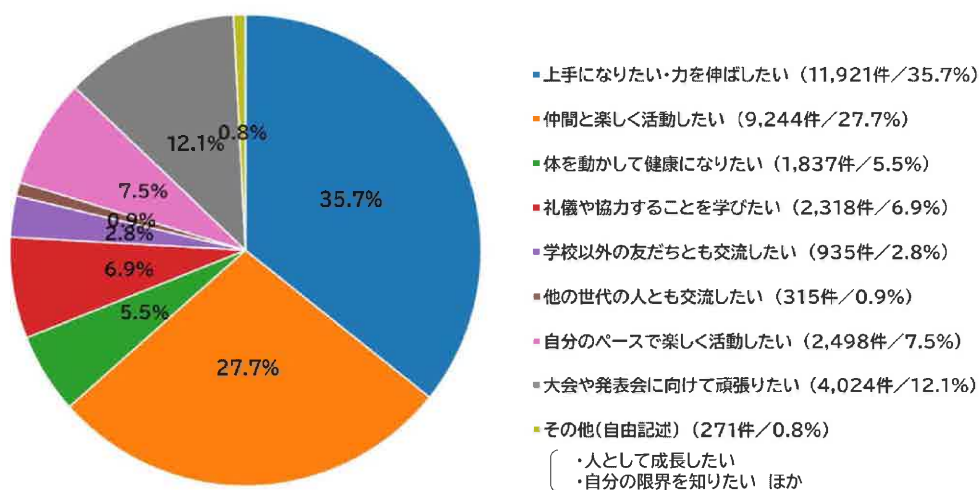
○「活動したいが、今は活動していない」と回答した生徒が希望する種目・分野としては、バスケ、サッカー、バレーなどのスポーツが占める割合が高くなっている。



13

Q13 スポーツ・文化芸術活動をするときに、大切にしたいことは何ですか。
当てはまるものを2つまで選んでください。

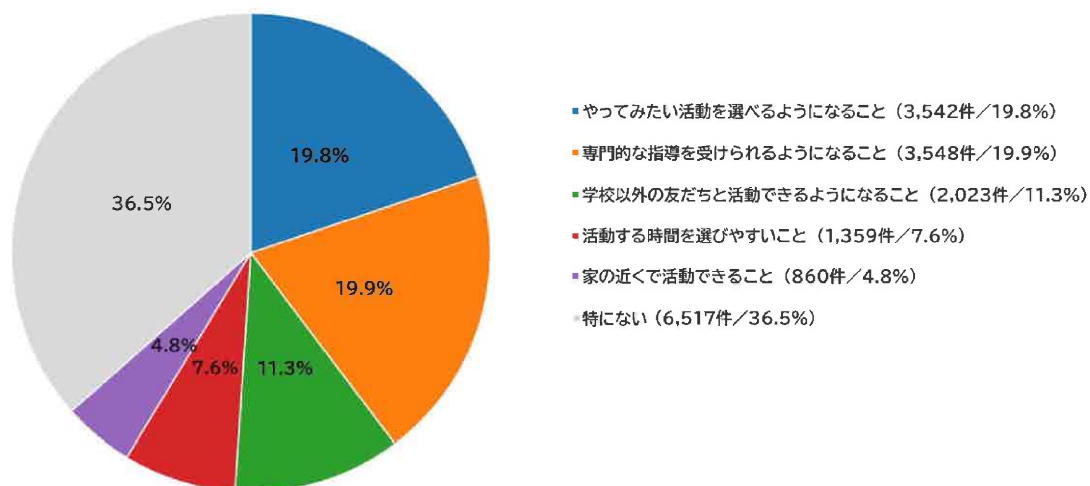
○ スポーツ・文化芸術活動をするときに大切にしたいこととして、「上手になりたい・力を伸ばしたい」及び「仲間と楽しく活動したい」を選んだ生徒が、いずれも全回答者の半数以上に上っている。



14

Q14 地域クラブ活動に、どんなことを期待しますか。

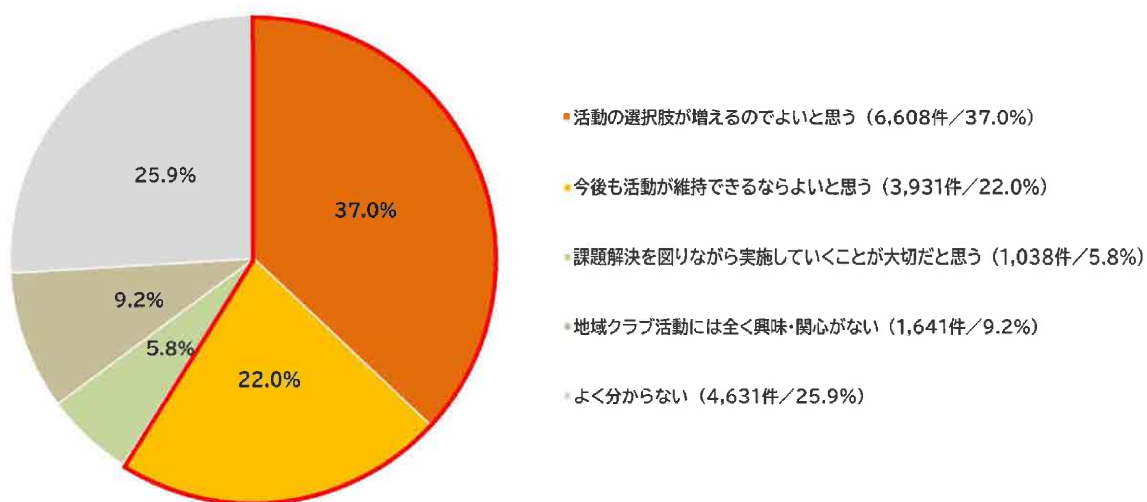
○ 地域クラブ活動に期待することとして、「やってみたい活動を選べるようになること」や「専門的な指導を受けられるようになること」のほか、「学校以外の友だちと活動できるようになること」を上げた生徒も一定数見られる。



15

Q15 今後、地域クラブ活動が広く行われる(展開される)ことについて、どう思いますか。

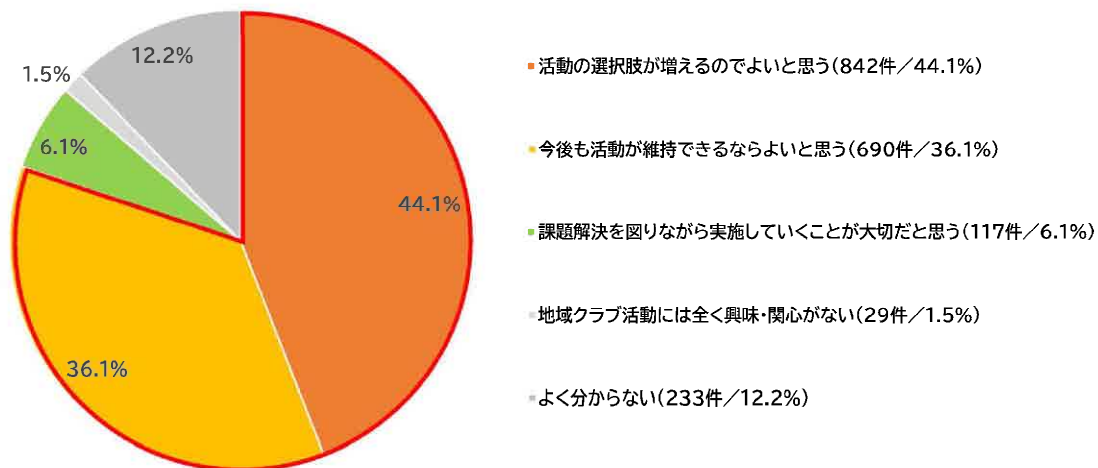
○ 今後、地域クラブ活動が広く行われることについて、約6割の生徒が「よいと思う」と答えている。



16

Q15 今後、地域クラブ活動が広く行われる(展開される)ことについて、どう思いますか。
***地域クラブに参加している生徒(n=1,911)の回答状況**

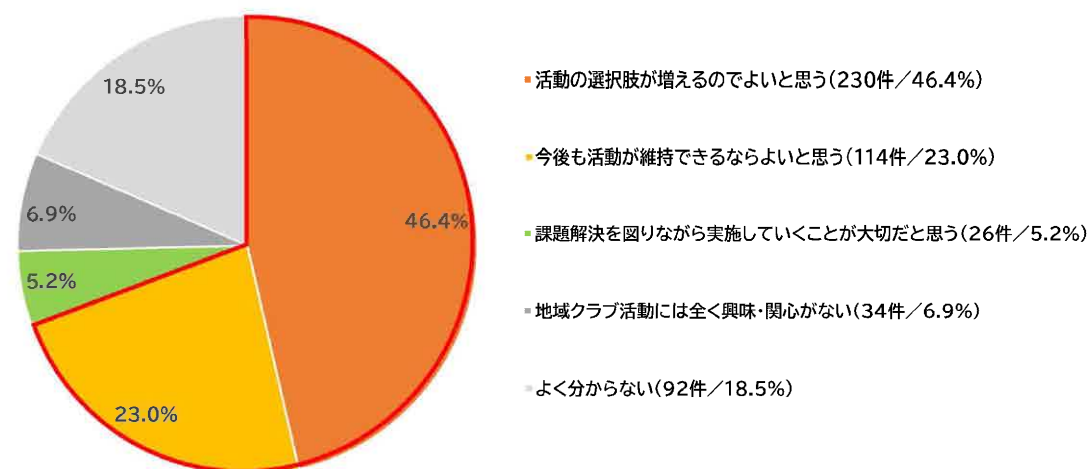
○ 今後、地域クラブ活動が広く行われることについて、8割超の生徒が「よいと思う」と答えている。



17

Q15 今後、地域クラブ活動が広く行われる(展開される)ことについて、どう思いますか。
***「活動したいが、今は活動していない」生徒(n=496)の回答状況**

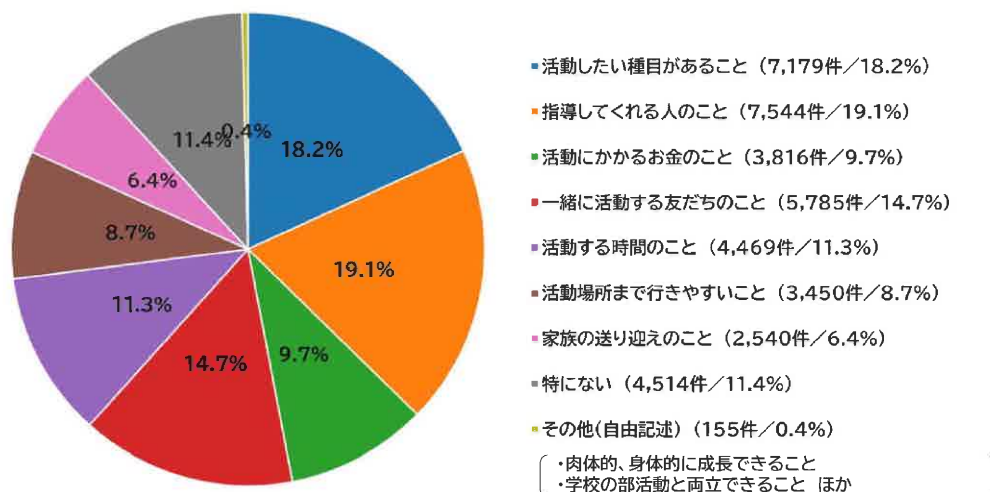
○ 今後、地域クラブ活動が広く行われることについて、約7割の生徒が「よいと思う」と答えている。



18

**Q16 地域クラブ活動について、大切に思うこと(課題)は何ですか。
当てはまるものを3つまで選んでください。**

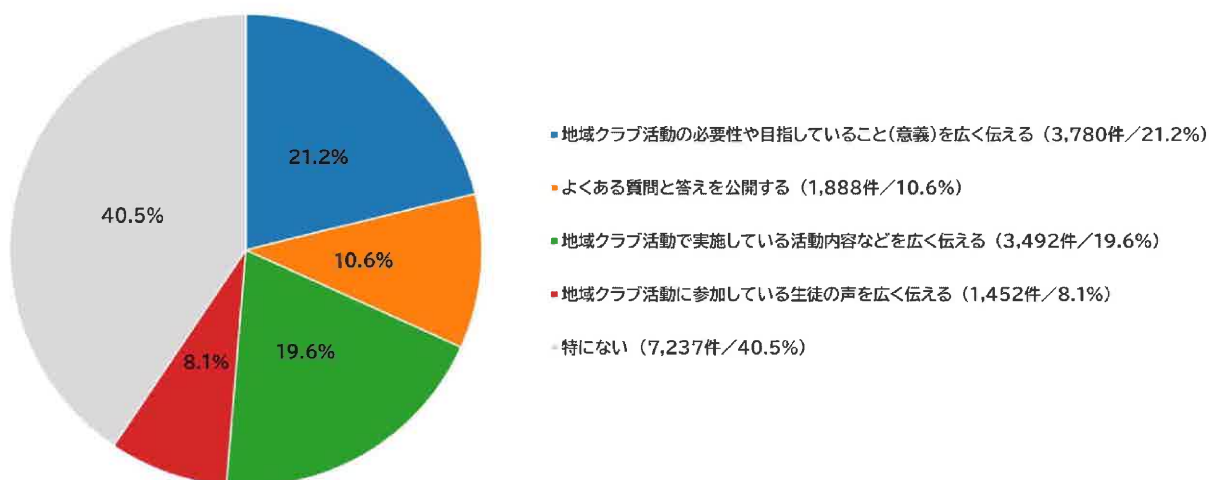
○ 地域クラブ活動について大切に思うこと(課題)として、「活動したい種目があること」、「指導してくれる人のこと」、「一緒に活動する友だちのこと」を上げている生徒が多いが、その他の選択肢も含めて回答は比較的分散している。



19

Q17 地域クラブ活動のことがよく分かるように(理解を深めるために)取り組んでほしいことはありますか。

○ 地域クラブ活動の理解促進のために、必要性や意義、活動内容を広く伝えるなど、様々な方法を通じて取り組んでほしいと考える生徒が多い。



20

Q18 「地域クラブ活動」について、「もっとこうなったらいいな」と思うことや意見があれば自由に書いてください。

<自由記述の例> n=6,195

① 活動の多様化・選択肢の拡大

- もっと色々なクラブがあれば、自分にあったものが見つかり、選択肢が広がると思う。
- パソコンやプログラム系のクラブ活動があったらいいなと思う。
- 美術や茶道など文化系のクラブがあると嬉しい。

② 専門的な指導者による指導

- 専門的な指導者に指導してもらいたい。
- たまにプロの選手やその指導者が来てくれると良いと思う。

③ 他の学校・地域との交流

- 他の学校の人が入ってくれたらとても楽しくできると思う。
- 地域の人との交流を増やしていったらいいと思う。

④ 参加しやすさ・受け入れ体制

- 未経験者でも入りやすく、温かく迎え入れてくれるクラブが増えたらいい。
- 初心者でも気軽に入れるところと、上級者向けのクラブで分けたらもっといいクラブ活動になると思う。

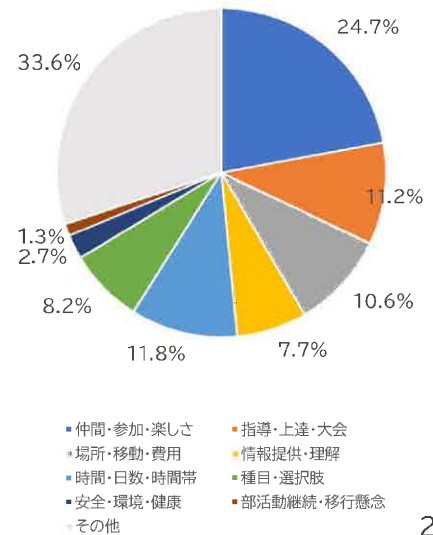
⑤ 広報・情報発信の充実

- 活動内容がもっと色々な人に知ってもらえるようにPRをしたりしてもっと地域クラブ活動がもりあがっていくと良いと思う。
- 地域クラブ活動に興味がある人の選択肢が広がるように、どのようなクラブやチームがあるのかを提示すれば分かりやすいと思う。

⑥ 費用・制度面の懸念

- 金銭的な負担があるならば、なるべく負担の少ないようにしたほうがいいと思う。
- 学校名で大会に出れなくなるのが嫌だから、学校名でも出れるようにしてほしい。

【参考】生成AIによる回答のテーマ別分類



いっしょに
楽しもう!

北九州市

新しい
仲間と!学校頼みの活動から、
まち全体で支える活動へ。休日 の部活動は、
令和9年9月から地域クラブ活動
に生まれ変わります。

- ✓ 令和7年9月より、休日の部活動を地域クラブへ段階的に切り替えています。
- ✓ 部活動は、原則、平日の活動となります。
- ✓ 部活動と地域クラブ活動、両方に参加できます。種目が違ってOKです。

なりたい自分に
チャレンジ!地域クラブ
活動とは?教育委員会が
認定するクラブで、
学校の部活動には
ない、さまざまな
活動があり、選択肢
が広がります。地域クラブの運営・
指導者は、まちの
さまざまな人たちが
担います。学校施設を優先的に
使い活動することが
できます。
(各学校と連携します)

ポータルサイト



詳しくはこちら

Kitakyushu
Action!

動かせ、未来。北九州市

こども
まんなか
北九州市

指導者人材バンク(案)について

令和8年8月25日
北九州市教育委員会

指導者人材バンク(案)について①

■先行して設置している自治体へのヒアリング及び前回の市民会議の意見より

- ・登録者はいるがマッチングまで至ってはいない。
- ・情報公開やマッチングの機会は設定しているが、教育委員会が介入していないため、実態を把握することができていない。
- ・登録しやすい仕組みや募集の広報などの工夫が必要ではないか。
- ・見ず知らずの人に指導をお願いするハードルが高いことから、教育委員会が介入することで一定のマッチングができています。
- ・見守りの人材も必要ではないか。
- ・試用期間があれば、活用しやすくなるのではないか。
- ・教育的意義を継承しながら指導することの難しさがある。

指導者人材バンク(案)について②

①募集対象者

- ・フェーズ1：指導を希望する教員、元教員、部活動指導員、部活動外部講師
- ・フェーズ2：指導資格所有者、指導経験者、活動経験者（大学生を含む）など
- ・まずは、生徒との関わり合いや教育的意義について理解があるフェーズ1を募集し、課題を整理しながら、フェーズ2に広げる

②マッチングの方法

- ・クラブから教育委員会に申請 → 教育委員会が候補者を選んで連絡
→ クラブと候補者で面談

③見守りの人材バンクについて

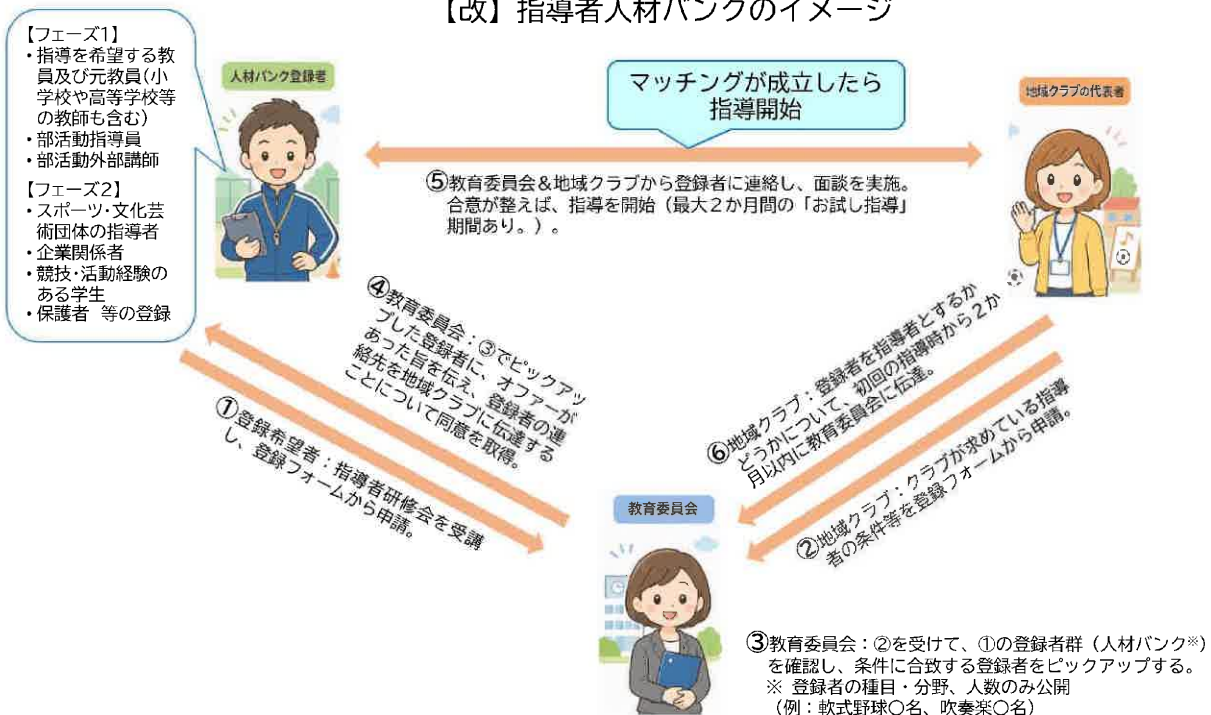
- ・地域クラブへのヒアリングより、指導者へのニーズは一定数あったが、見守りのニーズは確認できなかったことから、まずは指導者募集から進める
- ・見守りをはじめとしたクラブ運営に係る支援を希望する方の募集やマッチングについても、引き続き希望者の状況やクラブのニーズ等を確認しつつ検討する

④試用期間について

- ・クラブと候補者の面談後、2か月以内に「お試し指導」を実施

2

【改】指導者人材バンクのイメージ



3

北九州市立中学校 吹奏楽部に係る 地域クラブ活動の実施状況等について

令和8年8月25日
北九州市教育委員会

1

吹奏楽部状況(全24校・区別)

区	学校数/人数	10名未満	30名未満	50名未満	50名超
門司区	3校/69名	-	2	1	-
小倉北区	5校/247名	-	2	-	3
小倉南区	5校/216名	-	-	5	-
若松区	4校/190名	1	-	2	1
八幡東区	2校/46名	-	2	-	-
八幡西区	2校/59名	-	1	1	-
戸畑区	3校/109名	-	1	2	-
合計	24校/936名	1	8	11	4

※R8.6.10現在

2

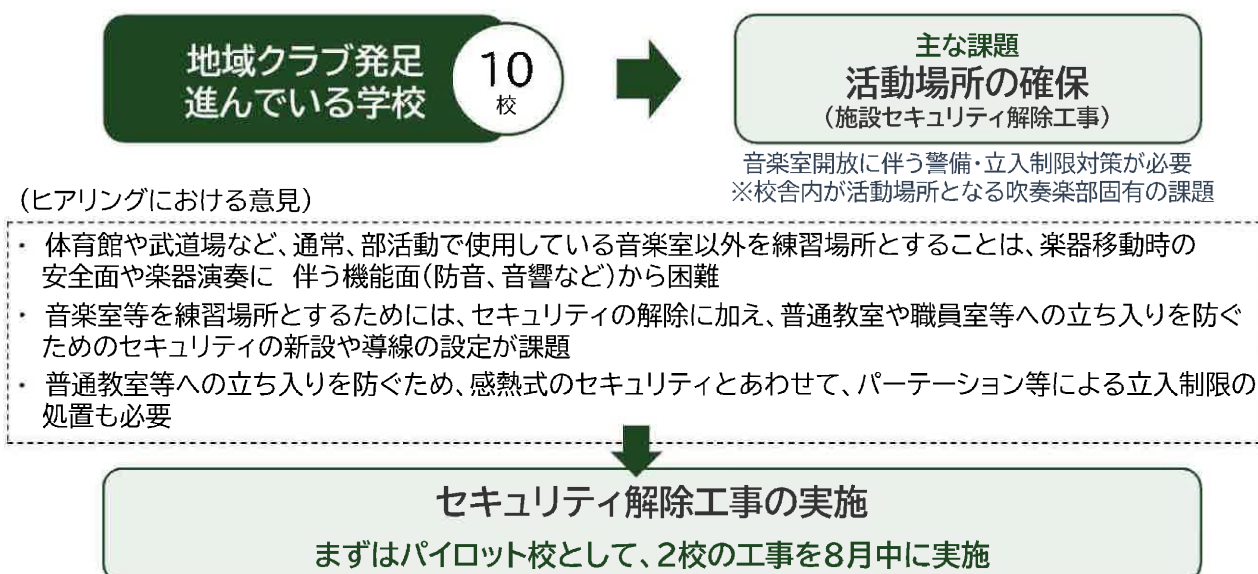
地域クラブ立ち上がり状況(全24校・区別)

区	学校数/人数	認定完了	審査中	検討中
門司区	3校/69名	-	-	3
小倉北区	5校/247名	1	-	4
小倉南区	5校/216名	2	2	1
若松区	4校/190名	1	1	2
八幡東区	2校/46名	-	-	2
八幡西区	2校/59名	1	-	1
戸畑区	3校/109名	1	1	1
合計	24校/936名	6	4	14

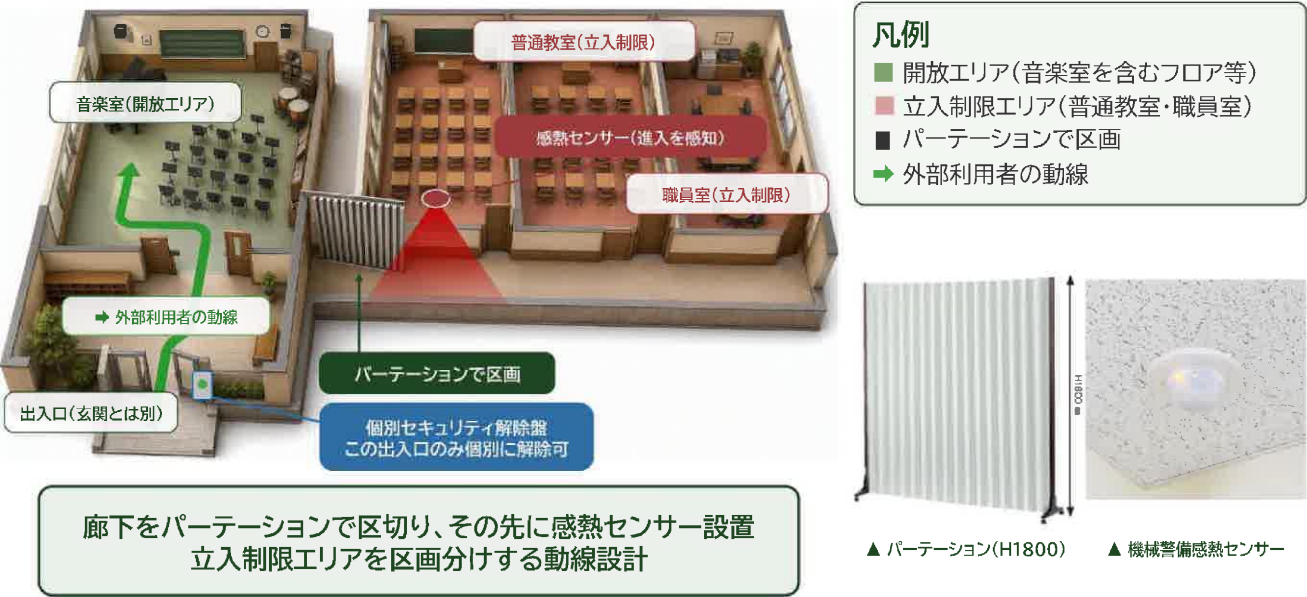
※R8.8.14現在 3

概要および全体傾向

ヒアリング対象:吹奏楽部のある全24校の管理職(校長)



施設整備の状況(イメージ)



5

(参考)学校ヒアリングを通じて得られたその他の課題

現状・ニーズ	・中規模以上(40～50名程度)の部員を有する学校が多く、土日の活動に対するニーズは高い
制度・運営	・地域クラブとして活動する場合の、団体登録やコンクール出場要件などの整理・周知が必要
指導者	・指導者の中には、コンクールの参加制限(50名)に応じた規模での編成意向がある ・部活動の顧問の教員が地域クラブの指導まで行うことができるか、また、可能な場合でも教員の人事異動による指導体制への影響について、懸念が大きい ・人材バンク等への登録は、吹奏楽経験者(各学校OB)や教員OBなどの人材が想定されるが、指導方針等で部活動との連動性をもった人材のマッチングが必要
楽器・楽譜	・現在、部活動を行っている学校では、楽器の数はほぼ充足しているが、十分なメンテナンスがされているとはいえない楽譜も多い ・楽譜は権利制約があり、コピーや貸し借りは不可(レンタル費用も高額となる場合がある)

6

経済的困窮者への地域クラブ活動参加費の支援（案）

資料2-4

休日の学校部活動を地域クラブ活動へ展開するにあたり生じる経済的な負担を軽減するため、経済的に困窮する世帯に対して、地域クラブ活動へ参加するための費用を助成するもの。

対象者

- 北九州市立中学校（特別支援学校の中学部を含む）に在籍する生徒の保護者で、生活保護又は就学援助を受給している者

27

対象経費

- 「北九州市地域クラブ*」の参加費（令和8年9月から令和9年3月分）

*北九州市教育委員会が「北九州市地域クラブ認定要綱」に基づき、認定した地域クラブ

支援金額

- 生徒一人につき上限10,500円*（参加費支払額が満たない場合はその額）

*月額1,500円：国が示す休日の参加費月額の補助基準単価3,000円×1/2（月2回の活動費相当）
上限10,500円：月額1,500円×7月分（令和8年9月から3月分）